

鎌倉〔葛原岡・大仏ハイキングコース ・天園ハイキングコース〕報告書

日 程：2025 年〔令和 7 年〕11 月 23 日

参加者：岡村繁雄

コース：江ノ電極楽寺駅 → 星井寺 → 鎌倉 長谷寺 → 鎌倉大仏殿 高德院 → 大仏坂トンネル分岐
→ 葛原岡神社 → 源氏山 → 寿福寺 → 亀ヶ谷坂 → 建長寺 → 勝上嶽 → 大平山
→ 天園 → 鎌倉宮 → 鶴岡八幡宮 → JR 鎌倉駅

行 程：約 6 時間

藤沢のホテルを夜明け前に出発。

ガラとした客のいない江ノ電の車窓から、少しずつ明るくなる中、時折見える七里ヶ浜の海が印象的。

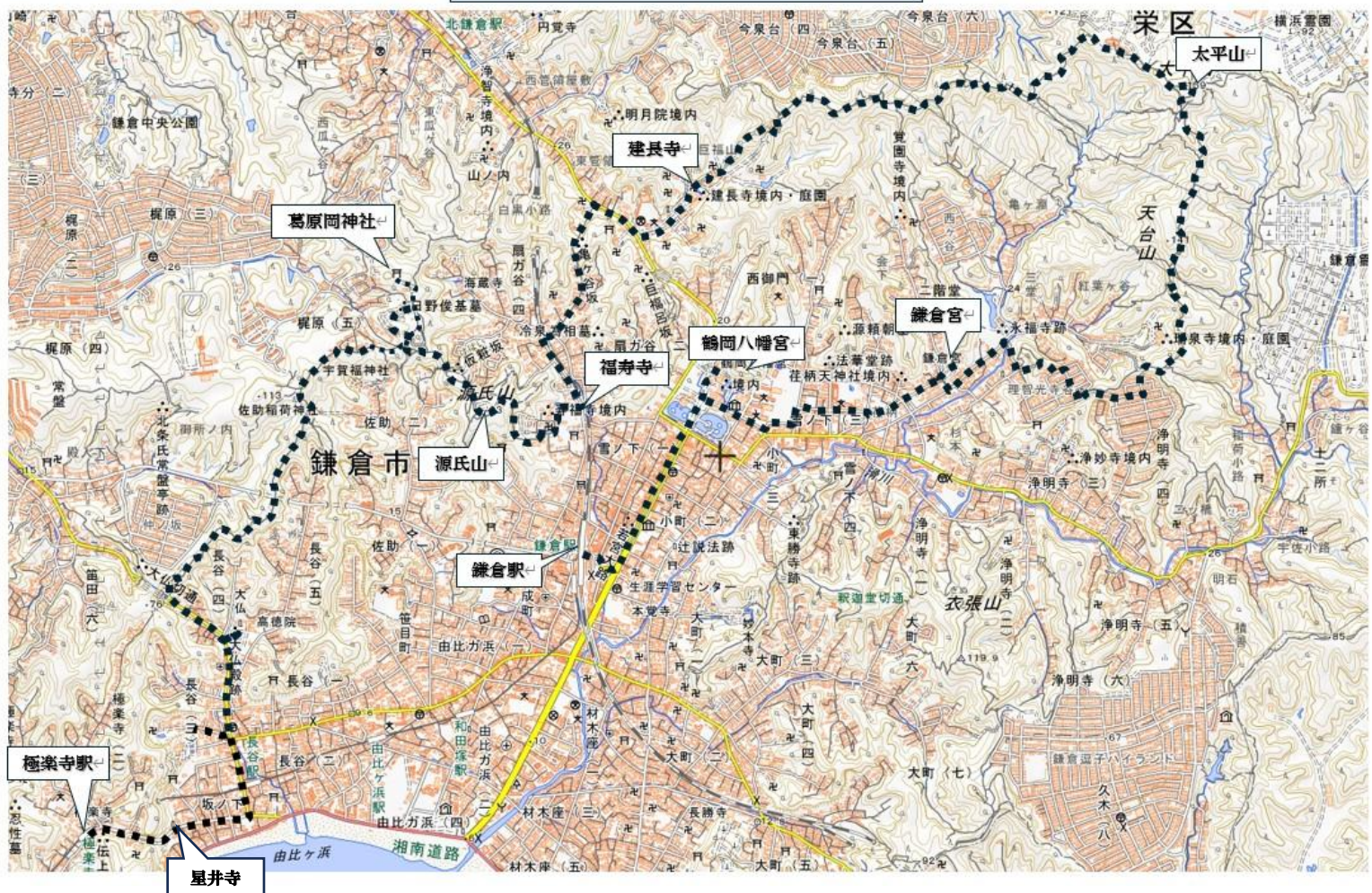
この付近の沿線がアニメで賑わっている踏切がある場所だとすぐわかった。

連休で混雑が予想されるため、早めに JR 鎌倉駅のコインロッカーに荷物を預け、江ノ電で極楽寺駅に戻り 7 時頃より歩き出す。

曇り空で肌寒いが、歩くには程よい気温であった。

長谷寺・鎌倉大仏殿高德院は、拝観受付時間がいずれも 8 時らしく、開いておらず写真だけ撮って通過後、トンネルの右側の階段から葛原岡・大仏ハイキングコースに入る。

2025年11月23日 鎌倉散策コース





江ノ電 極楽寺駅 下車 [6:54]



星井寺



鎌倉 長谷寺



軒下 左の狛犬



高德院 仁王門





仁王門付近よりの鎌倉大仏〔望遠〕



葛原岡・大仏ハイキングコース 入口の階段〔7:32〕



長めの階段の途中から右手へ 源氏山公園を目指す





整備されたハイキング道



〔8:19〕



舗装道路に出る〔8:20〕



葛原岡神社 社務所横の鳥居〔8:30〕



葛原岡神社



葛原岡神社 御朱印





源氏山公園のもみじ



源氏公園の中心に位置する
鎌倉幕府の初代将軍 源頼朝像

葛原岡神社で御朱印をいただいて、源氏山公園では、見ごろの紅葉を写真に収めながら散策して源氏山へ。

標高 93m の源氏山 山頂
[9:08]



源氏山から墓地を通過し、寿福寺の裏手から中門へ。

中門から総門への石畳は人通りもなく、紅葉が生えて心が落ち着く心地よい参道であった。



寿福寺の裏手の墓地を通過 [9:18]



石畳より紅葉を見上げる



中門から総門への石畳



寿福寺の総門よりの中門〔望遠〕



寿福寺の総門〔9:24〕

源氏山から寿福寺経由で一旦線路沿いまで下山して、亀ヶ谷坂を経て建長寺へ。





勝上獄展望台



天園ハイキングコースへの登りの階段



この付近の紅葉が見頃



三門(重要文化財)重厚感ある柱である



建長寺 総門 [9:48]



建長寺 法堂の天井画「雲龍図」



釈迦苦行像〔法堂の千手観音像の前に設置〕



法堂の本尊 千手観音像

建長寺では、拝観料を払って入場して、境内を散策。
勝上獄展望台経由で急な階段を少し登った縦走路より、天園ハイキングコースに入る。



勝上獄展望台より 建長寺(左奥)を望む この先ほとんど眺望はなかった [10:20]



大平山 (標高 159m)
このコースの最高峰
[11:00]



大平山のすぐ下の建物は、ゴルフ場の管理棟らしい 右が山頂広場

建長寺より勝上獄展望台から天園ハイキングコースに入った頃から混雑しだし、よく整備されたハイキングコースは、多くのハイカーで賑わい渋滞気味となった。

大平山 山頂は、フェンスに四角い標識があるだけではあるが、ここがこのコースの最高峰である。道中広々として休憩できる場所は、山頂下の広場しか見当たらず多くのハイカーが休憩していた。

大平山 山頂 フェンスに四角い標識ある場所



大平山 山頂下の広場
〔11:03〕



天園に設置されていた 天園ハイキングコースの案内板



鎌倉宮 御朱印



鎌倉宮





鶴岡八幡宮



神社仏閣を結ぶハイキングコースは、整備はされており高低差もさほどない。
道中で紅葉の写真を撮ったり、御朱印をいただいたりして観光ハイキングといった感じ。
後半は、建長寺に入場し境内経由で天園ハイキングコースに合流。
この辺からハイカーが多くなり、下山後の鶴岡八幡宮周辺は、予想通り多くの観光客で賑わっており、御朱印をいただくのに長蛇の列であったため断念。
コース最高峰は、大平山で標高 159mの低山。年を取るとたまにはこんな山行もいいなと感じた。
ぶらぶらと秋の鎌倉を、満喫することが出来た。

北九州山岳同好会「嵐」

Reported by S.Okamura Photo presented by S.Okamura